

◆一般共同研究（研究期間：平成27年4月1日-平成28年3月31日）
 （所内外の研究者からなる少人数のグループで協力して進める共同研究）

No.	No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
1	2015-G-01	小野 重明	海洋研究開発機構海洋掘削化学研究開発センター	三部 賢治	沈み込むスラブ中の出現する炭酸塩鉱物の電気伝導度の測定	報告書
2	2015-G-02	石橋 秀巳	静岡大学大学院理学研究科	安田 敦	富士山新規噴出物の鉱物化学分析に基づくマグマプロセスの検討（その2）	報告書
3	2015-G-03	穀山 涉	産業技術総合研究所計測標準研究部門	新谷 昌人	広帯域地震計の感度の振動加速度一次標準による校正	報告書
4	2015-G-04	渡邊 力夫	東京都市大学工学部	新谷 昌人	人口衛星搭載型多成分微小加速度計による高層大気密度分布モデル確立に関する研究	報告書
5	2015-G-05	寺田 暁彦	東京工業大学火山流体研究センター	及川 純	熱水系卓越火山の火口浅部で発生する微小地震の精密震源決定	報告書
6	2015-G-06	嶋野 岳人	常葉大学大学院環境防災研究科	安田 敦	噴火推移モニタリングのための日別連続降灰試料解析法の迅速化	報告書
7	2015-G-07	深尾 良夫	海洋研究開発機構地震津波海域研究開発センター	塩原 肇 篠原 尚 西田 究	海洋/固体地球システム現象解明のための高感度絶対水圧計海底アレー観測	報告書
8	2015-G-08	松島 健	九州大学大学院理学研究院	及川 純	膨張期に入った三宅島火山のマグマ溜まりを測地的に検出する研究	報告書
9	2015-G-09	高橋 嘉夫	東京大学大学院理学系研究科	中井 俊一	炭酸塩中のウラン-トリウム同位体比による地層中の過去の酸化還元状態の推移	報告書
10	2015-G-10	神田 径	東京工業大学火山流体研究センター	小山 崇夫	地下構造調査による草津白根火山の熱水系モデルの検証	報告書
11	2015-G-11	石原 靖	海洋研究開発機構地震津波海域研究開発センター	竹内 希	南鳥島における広帯域地震観測：準定常観測に向けた伊豆・小笠原海域の地震の検出と解析の安定性の評価	報告書
12	2015-G-12	大園 真子	山形大学理学部	加藤 照之	山形盆地断層帯周辺の地殻変動－詳細な余効変動観測と変形過程の把握－	報告書
13	2015-G-13	山口 覚	大阪市立大学大学院理学研究科	上嶋 誠	同一断層系で活動性が異なる断層セグメント間の電気比抵抗構造の違いに関する研究	報告書

No.	No.	代表者名	所属機関	担当教員	研究課題	報告書
14	2015-G-14	橋本 明弘	気象庁気象研究所予報研究部	鈴木 雄 治郎	気象予測モデルと3次元噴煙ダイナミクスモデルの統合による適用性の優れた火山灰分布予測モデルの開発	報告書
15	2015-G-15	後藤 章夫	東北大学東北アジア研究センター	平賀 岳 彦	溶岩流試料の室内実験による粘性係数測定と、野外観測値との比較に基づく、溶岩流流動機構の解明ーその3：組織変化に着目してー	報告書
16	2015-G-16	金子 克哉	京都大学大学院人間・環境学研究科	小屋口 剛博	阿蘇カルデラ下のマグマ供給系の進化と大規模カルデラ噴火準備過程のモデル構築	報告書
17	2015-G-17	長谷中 利昭	熊本大学大学院自然科学研究科	安田 敦	阿蘇-4火砕噴火及び前駆噴火噴出物に含まれる鉱物中のメルト包有物の研究	報告書
18	2015-G-18	金嶋 聰	九州大学大学院理学研究院	川勝 均	火口直下の浅部火道における水蒸気爆発の準備過程の観測的研究	報告書
19	2015-G-19	小園 誠史	東北大学大学院理学研究科	鈴木 雄 治郎	霧島山新燃岳2011年噴火における火道流のダイナミクスに関する数値的研究	報告書
20	2015-G-20	中東 和夫	神戸大学大学院理学研究科	山田 知 朗	海底での地震・磁力同時観測手法の確立	報告書
21	2015-G-21	原田 靖	東海大学海洋学部	加藤 照 之	稠密GPS観測に基づく東海地方下の歪場とプレート境界のすべり分布の解明	報告書
22	2015-G-22	中西 一郎	京都大学大学院理学研究科	吉田 真吾	石本文庫の翻刻	報告書